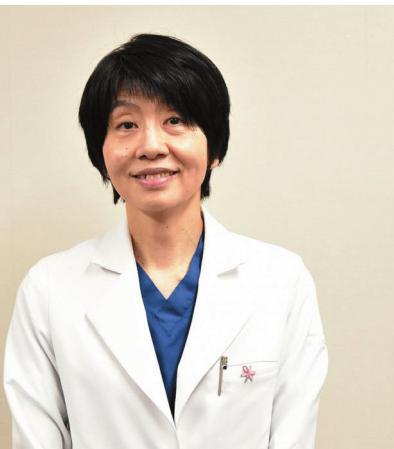


# 乳がんで苦しむ方をなくすために 集学的チーム医療を追求する



乳腺外科部長 中野 聰子

日本外科学会認定外科専門医  
日本乳癌学会認定乳腺専門医乳がんの  
診断と治療

## 川口市立医療センター

〒333-0833 埼玉県川口市西新井宿180

TEL. 048-287-2525 <https://kawaguchi-mmc.org/>

予約受付時間 月～金 午後1時～4時 完全予約制とさせていただいております。

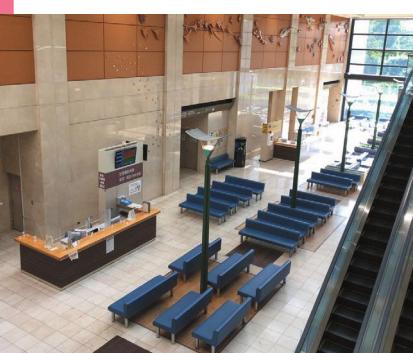
紹介状をお持ちの初診の方は、事前に病診連携部門で外来受診を予約してください。

※病院代表電話番号(048-287-2525)で病診連携部門をご指定ください。

休診日 第2・第4土、日、祝日、年末年始



同院オリジナルのピンクリボンバッジ



当院は、地域がん診療連携拠点病院として、乳腺外科、腫瘍内科、放射線科、病理診断科、形成外科、リハビリテーション科など、各科が緊密に連携しながら、乳がんの診断を進めているのが特徴です。また、治療中の方でも、辛い症状がある場合には緩和チームと一緒にみていきます。各科の医師はもちろん、日本看護協会認定がん化学療法看護認定看護師、日本看護協会認定緩和ケア認定看護師、薬剤師といったスタッフがチー

川口市立医療センターは、複数の診療科を持つ総合病院としての機能を生かし、乳腺外科を中心とした、乳がん治療の集学的なチーム医療に取り組んでいます。同院の中野聰子乳腺外科部長は、こう説明する。

「当院では院内の電子カルテシステムを活用した乳がん治療に関する情報ネットワークを構築。常時20～30人のスタッフが、乳がん患者のさまざまな情報を共有し、チーム医療の円滑化につなげている。」

こうした一体的な乳がん診療体制の下、診断については、マンモグラフィ、エコー、MRIや細胞診などを行い、確定診断のためのマンモトーム生検（エコーガイド下吸引補助針生検）では、より精度の高い診断を目指しているという。

また、同院オリジナルの「ピンクリボンバッジ」を制作、全職員が着用することによってチームとしての一体感を高めるとともに、「乳がんの早期発見、診断・治療の重要性を啓発していきたい考えだ。「3年前に、『乳がんで苦しむ方を一人でもなくすように』といふ願いを込めて、スタッフや患者さん向けに作りました。これからも患者さんとともに地域、病院一丸となって乳がん診療に取り組んでいきます」（中野部長）。

「乳がんの治療は、年々変化しています。乳がんのサブタイプに加え、遺伝的な観点からの治療も可能となっていました。治療の選択肢についてお話しし、患者さんと一緒にベストな治療を考えていきたいと思っていました。ご自身の乳房を常日頃から気遣い、変化を見逃さないでください」と、中野部長は強く呼びかけている。